ＶＥＥｍａ（ヴィーマ）が防災と井戸講習会開く

技術提案に年々関心の高まり

福井市の美山公民館

ＶＥＥｍａ（鈴木和男社長）は11日、防災と井戸「講習会」および手押しポンプ・井戸洗浄技術「実演会」～災害時の生活用水に困る事がないように、を開催した。同社主催の人気企画で、年々参加者が多く、今回は福井市の美山公民館を会場に、技術提案を行った。

災害用の備蓄型水洗トイレ

講習は館内で行い、まず鈴木社長が挨拶した。敦賀市の危機管理対策課の小保博幸氏と西野将士氏が市内で先進的に取り組む防災井戸の取り組みを紹介。ＶＥＥｍａの八杉真路工務課長が、既存井戸を災害時に利用するための井戸保守管理のポイントを指南した。

続いて、外会場では、井戸洗浄の実演や消雪散水管の洗浄実演、手押しポンプの実演・体験、災害用備蓄型水洗トイレの実演を行った。

参加者らは熱心にメモを取るなど、関心を高めていた。館内に戻り、意見交換もしている。

手押しポンプ

©「日刊　建設工業新聞」　発行所　（株）北陸工業新聞社（本社：石川県金沢市）